

第42回 県民芸術祭参加事業  
第13回 群馬オペラ協会公演  
歌劇「ヘンゼルとグレーテル」

群馬オペラ協会  
Gunma  
Opera  
Association



# Humperdinck Hänsel und Gretel

ヘンゼル 渡辺文子  
グレーテル 佐藤貴子  
魔女 青木育代  
ゲルトルート 久保田真実  
ペーター 下田雄治  
眠りの精 目崎ちひろ  
露の精 濱野友歌

演出 三浦安浩  
指揮 角田和弘  
ピアノ 多羅尾睦恵  
群馬オペラ協会合唱団  
藤岡児童合唱団エメラルド  
白鳩バレエ



2018年 12月 9日(日)

14時開場 15時開演 全席自由3,000円(高校生以下1,000円)  
昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館) 小ホール

主催：群馬オペラ協会  
協賛：群馬県/第42回県民芸術祭運営委員会/(公財)群馬県教育文化事業団  
後援：上毛新聞社/群馬テレビ/FM群馬/群馬楽友協会  
〈お問い合わせ・チケットお申込み〉 角田音楽企画 090-5304-7215  
〈プレイガイド〉 昌賢学園まえばしホール 027-221-4321  
煥乎堂前橋本店 027-235-8111

# CAST

フンパーディンクの  
「ヘンゼルとグレーテル」

ヘンゼル



渡辺 文子

グレーテル



佐藤 貴子

魔女



青木 育代

ゲルトルート



久保田 真実

ペーター



下田 雄治

眠りの精



目崎 ちひろ

露の精



濱野 友歌

演出



三浦 安浩

指揮



角田 和弘

ピアノ



多羅尾 睦恵

このオペラの題材はグリム童話の「ヘンゼルとグレーテル」です。お話はグリム童話の筋に基づいていますが、オペラの「ヘンゼルとグレーテル」はより陽気で分かりやすい作品となりました。台本はフンパーディンクの妹アーデルハイド・ヴェッテによるもので、フンパーディンクも妹の子供たちのために作曲したものでした。

原作のグリム童話では、母親は貧しさゆえに「子供たちを森へおいてきてしまい！」と父親に言うような残忍な人物像で描かれています。オペラの中の母親は貧しさからくる苛立ちを子供たちにぶつけたことを後悔し、父親と一緒に森へ子供たちを探しにゆきます。そして最後はヘンゼルとグレーテルを見つけ、ハッピーエンドとなるのです。また、作品中でたびたび歌われる「神様」や「祈り」や「天使たち」という言葉からキリスト教と深く結びついていることもあり、ヨーロッパではクリスマスには欠かせない演目の一つとなりました。

そして音楽はといえば、前奏曲冒頭祈りのテーマが聴き手を一気にヨーロッパの森の中へといざなってゆくかのように始まります。ヘンゼルとグレーテルが森の中で眠ってしまったあとの間奏曲は壮大な音楽で奏でられます。子供のために書かれたこの作品は、大人たちをも十分に楽しませてくれる作品でもあるのです。

群馬オペラ協会ではクリスマスにふさわしいこの作品を、今回12月に皆様にお届けすることとなりました。フンパーディンクの音楽を、是非ご家族でお楽しみください。



群馬オペラ協会合唱団



白鳩バレエ



藤岡児童合唱団エメラルド